

特別寄稿 東京人権啓発企業連絡会（東京人企連）

人権問題の解決に向けて先進的な取り組みを行われている東京人権啓発企業連絡会（東京人企連）様の講師の皆様による特別寄稿です。

「私とジャンケンと思い込み」

東京人権啓発企業連絡会 リそな銀行 関根 昭之



関根 昭之 プロフィール

<所属企業> 株式会社 リそな銀行 人材サービス部 営業店勤務の後、本社事務管理部、2011年より人事部（人権啓発担当）

<東京人権啓発企業連絡会 経歴・役職> 2011年 担当者に就任 2012～2016年 啓発委員 2017年 グループ副理事

私がよく使うアイスブレイクに「後出しジャンケン」があります。ご存じの方も多いと思いますが、私のやり方を紹介します。

※アイスブレイク：直訳すると「氷を溶かす」こと。受講者の緊張をほぐし研修に興味を持ってもらうために、研修の最初や途中で行う小話やゲームなど

「後出しジャンケン」のやり方

研修の中盤、受講者に疲れや眠気が見えた時、「偏見・思い込み」の学習として実施しています。やり方は以下の通りです。

- ①普通のジャンケン 隣の人とペアになり、どちらかが3勝するまで普通のジャンケンを行う（これは以下②③を自然に導入するためのものです）
②後出しで「勝つ」ジャンケン 同じペアで、右側の人が後出しで「勝つ」ジャンケンを3回、左側の人が後出しで「勝つ」ジャンケンを3回行う
③後出しで「負ける」ジャンケン 同じペアで、右側の人が後出しで「負ける」ジャンケンを3回、左側の人が後出しで「負ける」ジャンケンを3回行う

このアイスブレイクで伝えていること やってみると、後出しで「勝つ」よりも「負ける」方

が難しいことがわかります。これは私たちがこれまで勝つようにジャンケンをしてきたからです。その結果私たちの脳には「グーに勝つのはパー」という「勝ち」の思考パターンが出来ました。一方で「グーに負けるのはチョキ」という「負け」の思考パターンは出来ませんでした。これが「負ける」手を出す難しさに繋がっています。

私たちの脳には同じような思考パターンがたくさんあります。それらは私たちが物事を素早く処理するために必要不可欠のものです。問題はこうした思考パターンが「たまた間違う」ことです。誤った思考パターンや状況に合わない思考パターンは、時として偏見や思い込みの、更には差別の原因になりかねません。

後出しジャンケンで「勝つ」方が楽な状態を簡単には変えられないように、私たちは一旦出来上がった思考パターンをなかなか変えられません。自分に偏見や思い込みがあることを十分に認識して時々自分を見直すことが必要です。私はこのアイスブレイクを通して「偏見や思い込みの根深さ」を伝えていきます。

私にもあった思い込み

上記研修を行っている中で、本当に全員「勝つ」ジャンケンが楽なのだろうか、という疑問がでてきました。そこで研修時に聞いてみると、「どちらも同じ」という方が数パーセント、「負ける方が楽」という方も若干名いらっしゃいました。なぜそう感じるのかは、本人を含めてわからないケースが大半でした。

私は自分が「勝つ」方が楽なので、単純に全員そうだと思い込んでいました。「偏見・思い込み」の研修をしながら、自分の「思い込み」には気づかないという皮肉な状況でした。それに気づいてからは、このアイスブレイクの結論に「人間の多様性に気づき、少数派に配慮すること」を加えています。

自分にとっては当たり前でも、他人には当たり前とは限らない。改めて、そのことを認識した出来事でした。



先進地視察研修

東京都人権プラザ施設研修及び東京人企連グループ研修研究発表会に参加しました

人権協では、人権教育・啓発活動の先駆的取り組みを研修する機会として会員により先進地視察を行っています。

本年度も会員より参加者を募集し、6名の会員と事務局1名で2月21日（水）からの2日間、リニューアルした東京都人権プラザ・人権教育啓発推進センターの施設見学と東京人権企業連絡会のグループ研修研究発表会を聴講しました。

参加した会員からは、「東京都における人権施策の歴史・経緯を知ることができ、とても参考になった。」「今後の研修に役立つ

てたい様々な啓発冊子があった。」「研修に参加して、グローバルな世界となった今日、人権問題に真摯に取り組むことが企業や団体にとって必要不可欠であると強く感じた。」などの感想が寄せられました。

研修会に参加いただいた会員様（五十音順、敬称略）

- 株式会社えがお
● 熊本人権擁護委員協議会熊本市部会
● 公益財団法人熊本市YMCA
● 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団
● 熊本市社会福祉施設連合会
● 熊本市青少年健全育成連絡協議会



2017年度東京人権啓発企業連絡会グループ研修研究発表会



東京都人権プラザでの施設研修

平成29年度 第3回人権啓発担当者養成研修会 「ハンセン病と人権」現地研修会を実施しました

ハンセン病の歴史等に触れ、ハンセン病に対する正しい理解を深めるとともに、入所者や関係者等からお話しをお聞きすることによって、人権について考える機会とするため、平成30年1月18日（木）、ハンセン病と人権現地研修会（バスツアー）で市内のリデル、ライト両女史記念館と合志市にある国立療養所菊池恵楓園を訪問しました。

道中のバスの中では、子どもの人権テーブル所属で菊池恵楓園のボランティアガイドでもある坂本みゆきさんより、ハンセン病についてのお話をいただきました。最初の研修先であるリデル、ライト両女史記念館では、館長秋山大路さんによる講話と被災した記念館やゆかりの施設をガイドにより見学しました。

その後、もう一つの研修先である菊池恵楓園を訪れ、菊池恵楓園入所者自治会会長志村康さんよりご自身の体験を踏まえた講話をいただき、3班に分かれてボランティアガイドの説明を聞きながら園内・社会交流会館の見学をしました。

参加された方からは「入所者の方からの話が聞けてよかった。今後も、ハンセン病や人権についてもっと深く学んでいきたい。」「志村会長のお話で人権と生命について奥深く知る事ができて良かった。」「正しい認識と啓発活動の大切さ感じました。」などのご感想が寄せられました。



被災したリデル、ライト両女史記念館



やすらぎ会館で講演する志村会長

熊本市地域公民館連絡協議会（地公連）研究大会で「地域団体等啓発事業」を開催しました

本年度より、多くの方に人権研修に参加いただく機会として、人権協会員の地域団体等の総会や大会等の機会に合同で人権研修会を行う「地域団体等啓発事業」を実施しました。

今回は、2月15日（木）に地公連の第45回研究大会の1コマを活用してもらい、講師に桜井・法貴グローバ

ル教育研究所の桜井高志さんをお迎えして、「まちづくりのための“人権”の使い方 ～もう一つの人権とは～」という演題でご講演いただきました。講演をいただいた桜井さんに『西洋型の人権「使う人権」』についてご寄稿いただきました。

特別寄稿

西洋型の人権「使う人権」

～人権を基盤にして市民社会を形成しよう

桜井・法貴グローバル教育研究所

代表 桜井 高志

僕の専門は教育学ですが、ここでは西洋型の「使う」人権を紹介したいと思います。

従来型の日本の人権は、差別されている人や抑圧されている人をどのように救済するか、人権侵害をどうなくすか、という「守る」人権です。それに対して西洋型の人権は、より良い社会をつくるための「道具」としての人権です。人権を使って価値観が多様化する社会、民主的で一人一人が参加できる社会、このような社会の当事者としての技術・スキルを身に付けるために人権教育があります。

海外ではこの人権教育を小学校の低学年から教えています。子どもたちであっても、地域コミュニティの中で多様な人々（人種、民族、文化、宗教…）と共存していくからです。また自分と異なる他者や集団に対しての偏見や固定観念は小さい頃から形成されてしまうので、なるべく早い段階から対応することが効果的でもあります。

日本では人権教育というと「やさしさ」や「思いやり」、「みんな仲良く」という感情や感覚的な切り口で取り組まれていることが多いのですが、海外では少し違います。やさしさや思いやりなどの個人の資質として捉えるのではなく、他者とコミュニケーションできる技術や異なる価値観を尊重する能力として教育されます。

「やさしさ」や「思いやり」は道徳的な個人の資質であり、好き嫌いのあるわたしたち人間はすべての他者に対して「やさしさ」や「思いやり」を持てるわけではありません。しかし人権は違います。人権は、好き嫌いを超えてすべての人の人間としての尊厳を尊重できなければなりません。嫌いな人であっても、その人の人権が侵害されていない時には「おかしい」と声をあげられるようになることが人権です。

「権利と義務？」

「権利」の対義語は何でしょうか？ 日本では一般的に「権利と義務」がセットとして教えられます。ところが海外の人権教育や人権啓発では権利と義務と書いてある本は一冊もありません。海外では「権利と責任」として教えられています。

国民としての義務、国民の三大義務を覚えていますか？ 勤労、納税、子供に教育を受けさせる親の義務です。では、この3つの義務を果たしている人にだけ基本的人権が保証されるのでしょうか。子どもは義務を果たしていません。定年退職後は勤労の義務を果たさなくなります。義務を果たせない障害者の人権は、お情けとしてなのでしょうか。そうではありません。義務を果たしている方がいいですが、全ての国民（人間）には基本的人権があります。権利と義務をセットにして考えると、義務を果たしていない人には権利はない、という議論になりやすいです。とても危険です。

それに対して海外ではどうかというと、権利と責任をセットとして教えられます。権利には必ず責任が伴うということをおさいうちから教えています。この世に産まれたすべての人間に権利があります。でも、権利を行使したら責任を果たさねばならない。また、自分に権利があるんだとしたら自分以外の全ての人に同じ権利を認めなければなりません。だから我儘にはならない、自分勝手にはならないのです。権利を主張するということは責任を持つということです。

権利と義務をセットにして、義務を果たさなければ権利はないという日本と、権利は全ての人にあるが責任が伴うと教えられる社会では、どちらが責任感ある市民が育つでしょうか。人権を基盤にして社会の中で責任を持って自分の役割を果たしていく、それが成熟した市民社会につながるのではないかと思います。



辛島公園地下駐車場 休日もスイスイ♪ 天候にも左右されない♪ 熊本市中心市街にお越しの際は、地下駐車場へ！

うるおうスキンケア 天然のトマトエキス（保湿成分）配合で うるおうスキンケア 新トマーテリコシリーズ

私達は「より安全に、より良い品質で、より経済的に」ガス管工事にご夜取り組んでおります。 熊本管工建設株式会社

AIKC アイシン九州キャスティング株式会社 〒861-4214 熊本市南区城南町舞原1227番地1

人、街、地球を快適に。西部ガス http://www.saibugas.co.jp

九州から発進、そして未来へ!! AISIN KYUSHU Co.,Ltd. アイシン九州株式会社

Daiwa House. 大和ハウス工業株式会社 熊本支店

豊富な知恵・豊富な経験・丁寧な仕事でお応えします。 熊本市シルバー人材センター

つかえるろうきん みんなのろうきん 九州ろうきん

ふれあう共済 会員事業所募集中！ 会費（一人1ヶ月／350円）で、従業員の皆様に各種の福利厚生事業を提供いたします

株式会社 十八測量設計 熊本市中央区新大江3丁目9番48号

成人案内 atsumaru.jp あつまるくん 株式会社あつまるホールディングス

私たちは お客様の想いと夢をデザインします… 社会福祉法人 熊本県コロニー協会

健康をつくる 未来をつくる えがお